

■紀船守 公卿。惠美押勝の乱の功で登場、桓武天皇に信任されて、長岡京造営や紀古佐美尋問を担当、大納言に至った。

きのふなもり

・・・・・・ 731= 生。猿取または諸人の子。田上の父。

藤原四卿没・ 737= 6歳 :

藤原広嗣の乱 740= 9歳 :

行基没・・・・ 749=18歳 :

聖武天皇没・ 756=25歳 :

孝謙天皇讓位 758=27歳 :

惠美押勝の乱 764=33歳 : 授刀舎人の1人であったらしく、*藤原仲麻呂の乱に際して、孝謙上皇が中宮院の淳仁天皇の許にあった馱鈴と印璽の回収を決行するに当たり、上皇の詔使として、同僚とともに、仲麻呂の刺客を撃退。その功により従七位下から一挙に従五位下に叙せられ、

道鏡法王・・・・ 766=35歳 : 功田8町を下賜され、功田はその子に伝えることを許された。

・・・・・・ 767=36歳 :

・・・・・・ 768=37歳 : 檢校兵庫軍監、

宇佐八幡神託 769=38歳 : 近衛将監で紀伊介。

東大寺完成・ 771=40歳 : 近衛将監で但馬介となり、

・・・・・・ 775= 44歳 : 近衛員外少将で紀伊守。

・・・・・・ 776=45歳 :

第16回遣唐使 777=46歳 : 土佐守の兼任となり、

・・・・・・ 778=47歳 : 近衛少将で内康助と土佐守を兼ねた。

桓武天皇即位 781=50歳 : 近衛員外中將で内康助を兼任。*参議にのぼる。以後、内康頭・常陸守・近衛中將などを次々兼任、

長岡京造営始 784=53歳 : 藤原種継・佐伯今毛らとともに山背国長岡村に遭わされ、遷都の候補地を視察、種継・今毛ら9人と造長岡宮使に任ぜられて都城を經始し宮殿を營作することに当る。早速賀茂大神の社に奉幣し遷都のことを報告に赴き、さらに賀茂の上下社に従二位を授ける勅使となる。

藤原種継暗殺 785=54歳 : 中納言となり、

長岡京中斷・ 786=55歳 : 式部卿を兼任した。

蝦夷征伐始・ 788=57歳 : 皇太子安殿親王(のちの平城天皇)の元服の加冠に奉仕し、

・・・・・・ 789=58歳 : 征東將軍紀古佐美を太政官曹司に呼び、いたずらに軍を逗留させ進めなかつたうえ阿且流為らに敗北したことにつき勸問する使者の一員となった。

・・・・・・ 790=59歳 : 正三位となり、

・・・・・・ 791=60歳 : 大納言に昇って、

・・・・・・ 792=61歳 : 山背国に40町の地を下賜され殊遇をうけたが、*没した。正二位右大臣を贈られた。娘は桓武天皇の妃の1人となっている。